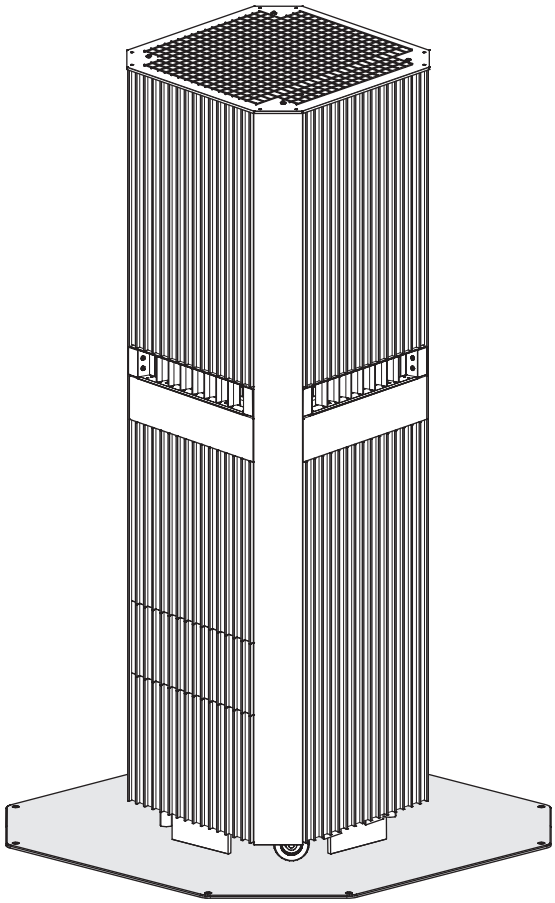
DAIKIN

取扱説明書

スポットエアコン アウタータワー《一体形》



製品ユニット

新冷媒R32対応シリーズ

SPP71AV（屋外設置用）

- このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
  正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
  お読みになったあと、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
  また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- この取扱説明書は製品ユニット専用ですので、コントロールパネル（リモコン）の取扱説明書をあわせてご覧ください。
  保証書はお買い上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

ご使用の前に

安全について
必ず守ってください …… 1
運転の内容と働き …… 5
各部の名前と働き …… 6

運転について

運転準備 …… 7
運転方法 …… 7
複数台同時運転の場合 …… 7
コントロールパネル各部の名前と働き …… 8
コントロールパネルの操作 …… 9
製品ユニットの移動
（据付板による設置の場合） …… 11

お手入れについて

お手入れのしかた
日常のお手入れ …… 12
シーズン初め・終わりのお手入れ …… 12

知っておいてください

調子がおかしいときは …… 13
別売品について …… 15
製品の種類 …… 15
安全にお使いいただくために …… 16
アフターサービスと保証について …… 17
本製品を所有されているお客様へのお願い …… 19
お客様ご相談窓口 …… 裏表紙

上手に使って上手に節電

安全について　必ず守ってください

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いにより、軽傷を負う可能性または物的損害の可能性があるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		必ず指示どおりに行ってください。
	絶対にぬれた手で触れないでください。		必ずアース工事をしてください。		

⚠警告　使用上の注意事項

●長時間冷(温)風を体に直接当てない、冷やし過ぎ(暖め過ぎ)ない
体調悪化・健康障害の原因になります。
禁止

●吸込口・吹出口や風向羽根に指や棒などを入れない
ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。
禁止

●分解・修理をしない
故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。
禁止

●改造は絶対にしない
故障や事故の原因になります。
改造による故障は、保証期間内でも有料修理になります。
禁止

●調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。
禁止

●調理場など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属性のホコリのある場所では使用しない
火災や故障の原因になります。
禁止

●可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は製品ユニットの近くで使用しない
ベンジン・シンナーで製品ユニットをふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。
禁止

●運転中は移動しない
水漏れや感電の原因になります。
禁止

●据付板で製品ユニットを固定している場合、台風・強風など風速30m/s以上の風にさらされるおそれのあるときは、風の当らない場所に移動してください
転倒などにより、けがの原因になります。
禁止

●ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない
針金などを使用すると故障や火災の原因になります。
禁止

●電源ブレーカーによる製品ユニットの停止をしない
火災や水漏れの原因になります。
禁止

●異常時(焦げ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご連絡ください。

●洪水・台風など天災で製品ユニットが水没したときは、お買い上げの販売店に相談する
運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。

●製品ユニット内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店に依頼する
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になります。
また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると故障や発煙・発火の原因になります。

●据え付ける場合は、据付板または基礎ボルトで製品ユニットを必ず固定する
地震や強風などの影響により製品ユニットが転倒し、けがや故障の原因になります。
建築物の上層階・屋上および塔屋に据え付ける場合は、基礎ボルトで固定してください。
基礎ボルトは50mm以上地中に埋め込んでください。

⚠注意 使用上の注意事項

●**特殊用途には使用しない**
精密機器・食品・美術品などの保存、
動植物の飼育や栽培など、
特殊用途に使用すると、
対象物の性能・品質・寿命に悪影響を
およぼすことがあります。

禁止

●**製品ユニットの上に乗ったり、
物を載せたりしない**
落下・転倒などにより、けがの原因に
なることがあります。

禁止

●**製品ユニットの近くに
ぬれて困るものは置かない**
運転条件や雨上がり時の運転開始時は3m程度、
水が飛散することがあります。

禁止

●**エアコンの風が直接当たるところで
燃焼器具を使わない**
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることが
あります。

禁止

●**吹出口の近くにスプレー缶などを置かない**
エアコンからの温風などにより
スプレー缶などが爆発する
おそれがあります。

禁止

●**製品ユニットやコントロールパネルで遊ばせない**
誤った操作による故障や体調悪化・
健康障害の原因になることがあります。

禁止

●**吹出口・吸込口の保護あみを取り外さない**
高速で回転するファンにより、
けがの原因になることがあります。

禁止

●**吸込口や吹出口をふさがない**
能力低下や故障の原因になることがあります。

禁止

●**コントロールパネルは絶対に分解しない**
内部を手で触れると感電や故障の原因に
なることがあります。
内部の点検調整はお買い上げの販売店に
ご依頼ください。

禁止

●**製品ユニットの周辺に、物を置いたり、
落ち葉をためない**
落ち葉などから侵入した小動物・虫が、
内部の電気部品に触れると、
故障や発煙・発火の原因になることがあります。

禁止

●**高圧洗浄機などを用いた製品ユニットの洗浄を
行わない**
製品ユニットの変形・能力低下の
原因になることがあります。
また電気部品や電動機にかかると
故障や発煙・発火の原因になることがあります。

禁止

●**傾斜部や凸凹部に設置しない**
転倒によるけがや水漏れの原因になることが
あります。
必ず水平な場所に設置してください。

禁止

●**移動時傾けない**
転倒によるけがや水漏れ・故障の
原因になることがあります。

禁止

●**ぬれた手で操作しない**
感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

●**コントロールパネルを水洗いしない**
漏電によって感電や火災の
原因になることがあります。

水ぬれ禁止

●**お手入れのときは必ず運転を停止し、
電源ブレーカーを遮断する**
電源ブレーカーを遮断しないと、
感電やけがの原因になることがあります。

●**長期間使用しないときは、電源ブレーカーを
遮断する**
ホコリがたまって発熱・発火の原因に
なることがあります。

●**移動時は、キャスターのストッパーを
固定解除状態にする**
転倒によるけがの原因になることがあります。

●**ドレンホースを接続した状態で
製品ユニットを移動する場合は、
ドレンホースがエアコンの移動の
さまたげにならないようにしてから移動する**
転倒によるけがや水漏れの原因に
なることがあります。

●**コントロールパネルカバーは操作が終わったら
確実に閉める**
水分の浸入や、ホコリの侵入により、
故障や発煙・発火・漏電の
原因になることがあります。

●**移動する際は必ず2人作業で行う**
転倒によるけがや水漏れ・故障の
原因になることがあります。

●**移動・移設時はお買い上げの販売店に連絡する**
移動・移設時には配線の取り外しが必要となり、
作業には資格が必要です。
ご自分ではなさらないでください。

⚠警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない
据付けに不備があると、
故障や水漏れ・感電・火災・転倒の
原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●別売品の取付けは、自分でしない
別売品は当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・
火災・転倒の原因になります。
お買い上げの販売店または
コンタクトセンターにご依頼ください。
（裏表紙参照）

禁止

●アース工事を行う
アースが不完全な場合は、感電や火災の
原因になります。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・
電話のアース線に接続しないでください。

アース線を
接続せよ

●漏電遮断器を取り付ける
感電・火災事故防止のため、
漏電遮断器の施設が義務付けられています。

●電源は必ず製品ユニット専用の電源を使用する
専用以外の電源を使用すると
発熱・火災・故障の原因になります。

●据え付ける場合は、据付板または基礎ボルトで
製品ユニットを必ず固定する
地震や強風などの影響により製品ユニットが
転倒し、けがや故障の原因になります。
建築物の上層階・屋上および塔屋に
据え付ける場合は、基礎ボルトで固定してください。
基礎ボルトは50mm以上地中に埋め込んでください。

●水平な場所に据え付ける
転倒などにより、けがの原因になります。

●吸込グリルの取り外しなどの作業を行う際は
必ず保護具を着用する
板のエッジなどにより、けがの原因になります。

●据付け後に製品ユニットを運搬する場合は、
電源ブレーカーを遮断し、電源配線・
アース線・制御配線・ドレン配管を外して運ぶ
感電・転倒などにより、けがの原因になります。

●配線の取外し・取付け作業をする場合は
電源ブレーカーを遮断する
感電の原因になります。

●冷媒漏れ対策は、販売店に相談する
万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると、
酸欠事故の原因になります。
屋外であっても間仕切りのある小空間に
据え付ける場合は、冷媒が漏れても
限界濃度を超えないように対策する必要があります。

⚠注意 据付上の注意事項

●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しない
万一、ガスが漏れてエアコンの周囲にたまると、
発火の原因になることがあります。

禁止

●製品ユニット上部は開放された空間に据え付ける
製品からの排熱により
建築物などの性能・品質・寿命に
悪影響をおよぼすことがあります。

●ドレン配管は、確実に排水するように施工する
不備があると、予期しない水漏れが、
汚れや故障の原因になることがあります。

●使用時は、キャスターのストッパーを
固定状態にする
転倒などによりけがの原因に
なることがあります。

据付場所について

●まわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？
（万一、冷媒が漏れた場合、冷媒の滞留を防ぎます。）

●次のような場所では使用しないでください。
- 調理油や鉱物油など油成分が浮遊しているところ
- 調理場など油煙の多いところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 温泉地帯など腐食性ガスのあるところ
- 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
- 工場など電圧変動の多いところ
- 車両・船舶など振動の影響を受けるところ
- 電磁波を発生する機械のあるところ
- 可燃性ガスの漏れるおそれのあるところ
- カーボン繊維や引火性粉塵の浮遊するところ
- シンナー・ガソリンなど揮発性引火物を取り扱うところ
- 落ち葉が堆積するところや雑草が生い茂るところ
- 小動物のすみかになるようなところ
- 傾斜や凸凹のあるところ
- 空間が閉鎖されたところ
- 製品ユニット上部に障害物があるところ

●テレビ・ラジオ・ステレオなどはエアコンや電源配線・制御配線から1.5m以上離してください。
映像が乱れたり、雑音が入ったりすることがあります。

●建物の上層階、屋上および塔屋に据え付ける場合は、基礎ボルトで固定してください。
基礎ボルトは50mm以上地中に埋め込んでください。

電気工事について

●電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。
お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。

●製品ユニット専用の回路をご使用ですか？
専用以外の回路を使用すると、発熱・火災・故障などの原因になります。

●電源配線が破損した場合、交換には資格が必要です。
配線の交換は危険を防止するため、お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。

運転音にもご配慮を

●次のような場所を選んでいますか？
- 製品ユニットの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
- 製品ユニットの吹出口・排気口からの風や運転音が近隣の迷惑にならないようなところ

●製品ユニットの吹出口・排気口近くに障害物がありませんか？
風量低下による機能低下や運転音増大・機器の故障の原因になります。

●使用中に異常音がする場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

ドレン配管の排水について

●ドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？
冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、ドレン配管内でごみ・ホコリなどが詰り、製品ユニットから水が漏れる原因になることがあります。
運転を停止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

据付け後のご注意

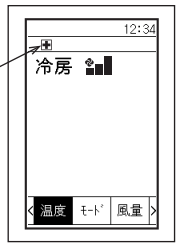
●製品ユニットの排気口・吹出口・吸込グリルを閉鎖してしまうと、運転がすぐに止まる場合があります。
このような場合には、排気口・吹出口・吸込グリルに物を置いたり、載せたりして、閉鎖していないかご確認ください。

⚠警告	**●改造などをして、冷凍サイクル内に指定冷媒以外やプロパンなどの可燃性物質を入れない** 冷凍サイクル内が異常高圧になり、爆発・火災・けがなどの原因になります。 指定冷媒以外が封入・混入された場合に発生した故障・誤作動などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。

運転の内容と働き

運転前に

●コントロールパネルに ✚（暖機運転マーク）が表示されている場合は暖機運転中です。
表示中は、冷房・暖房運転ができません。（送風運転のみ可能です。）
時間をあけてから運転を開始してください。
（電源ブレーカー投入後、約1.5時間表示されます。）



暖機運転マーク

冷房運転の特性

外気温度と冷房能力について
●外気温度が高い場合、冷風になるまで時間がかかります。
（冷房運転範囲：吸込温度20℃～40℃）

機能について
●温度調節はできません。
●風量を3段階に設定できます。

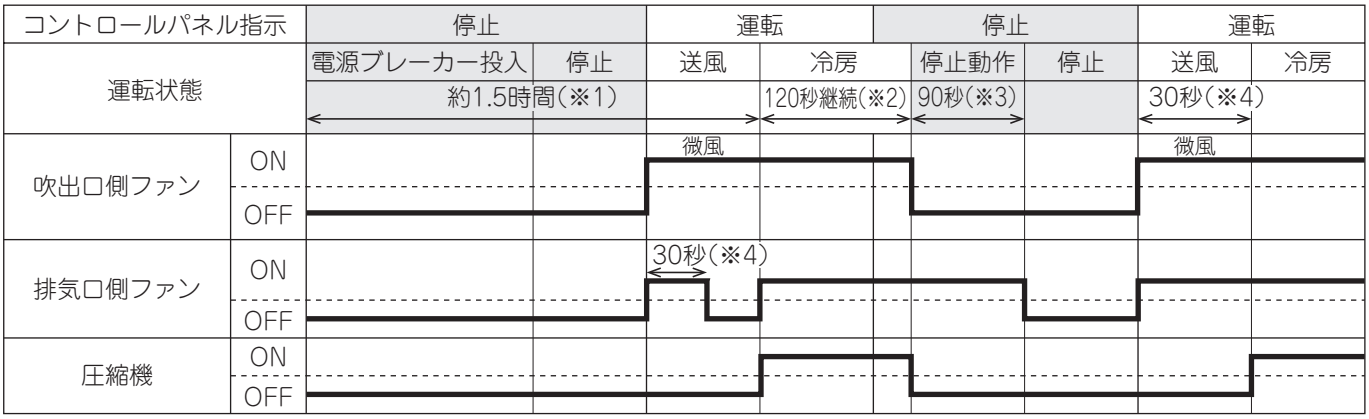
暖房運転の特性

外気温度と暖房能力について
●外気温度に比べて暖かい空気を出す「弱暖房」機能です。
ほかの暖房器具と併用してお使いください。
（暖房運転範囲：吸込温度9℃～25℃）

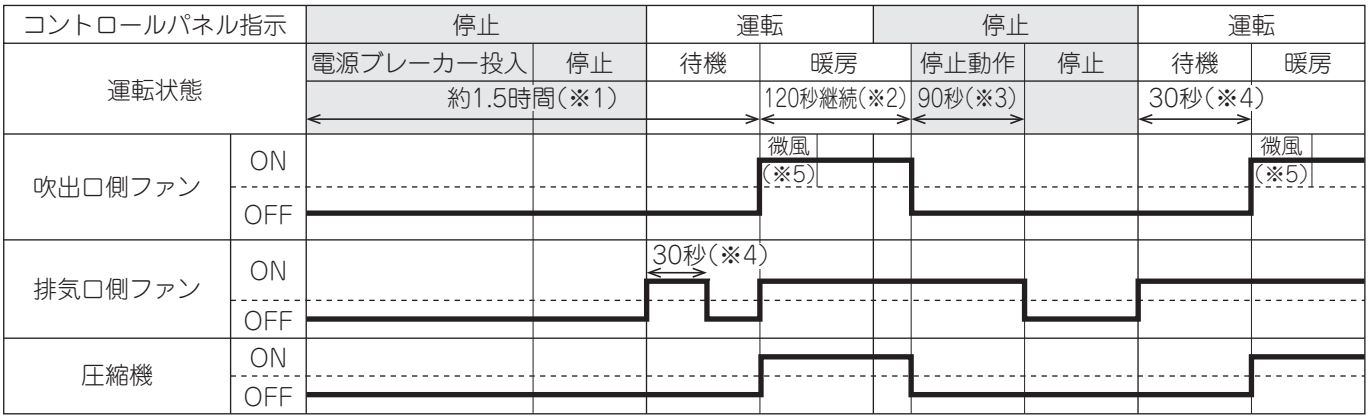
機能について
●温度調節はできません。
●風量を3段階に設定できます。

運転の内容と働き

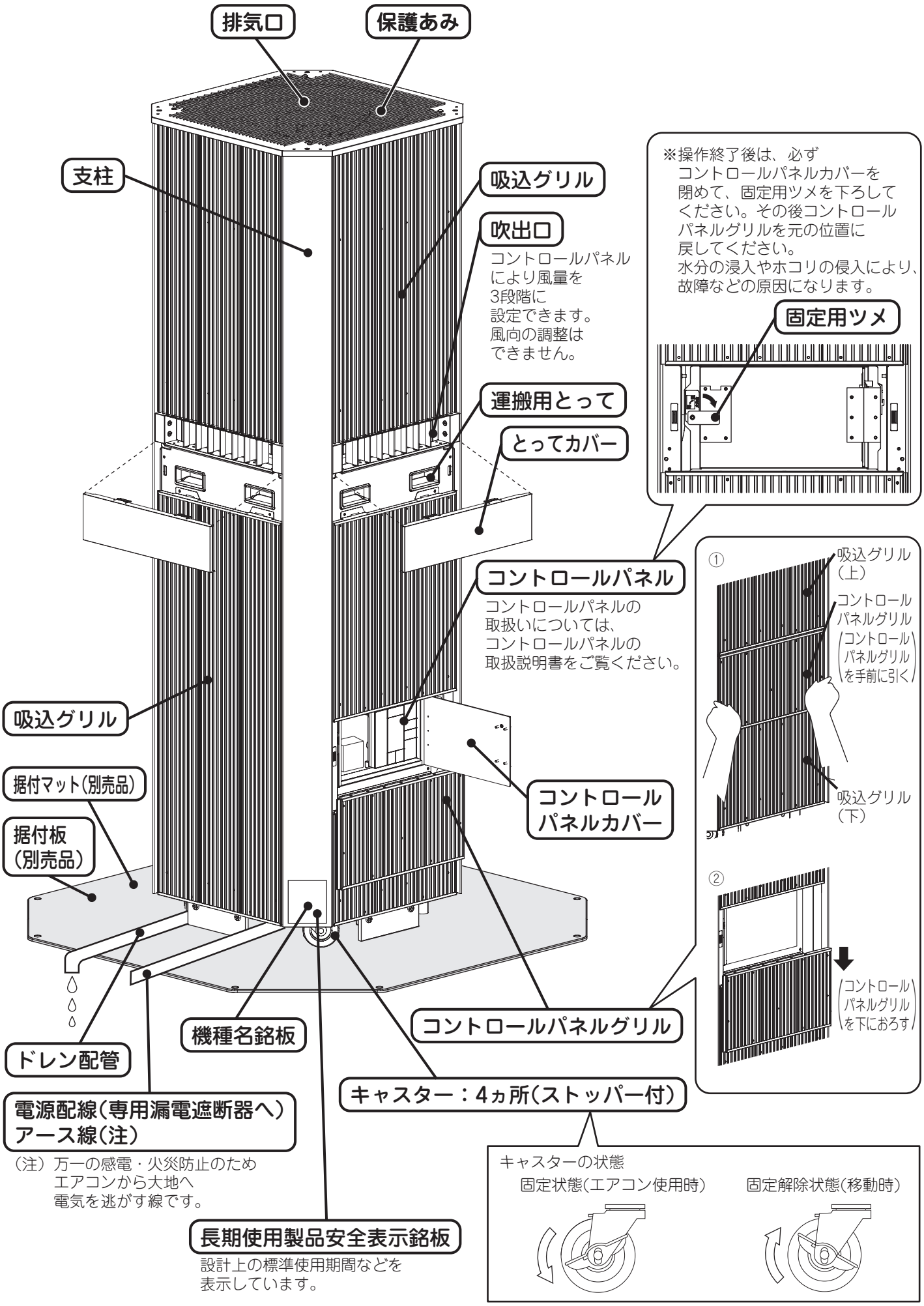
〈冷房運転の場合〉



〈暖房運転の場合〉

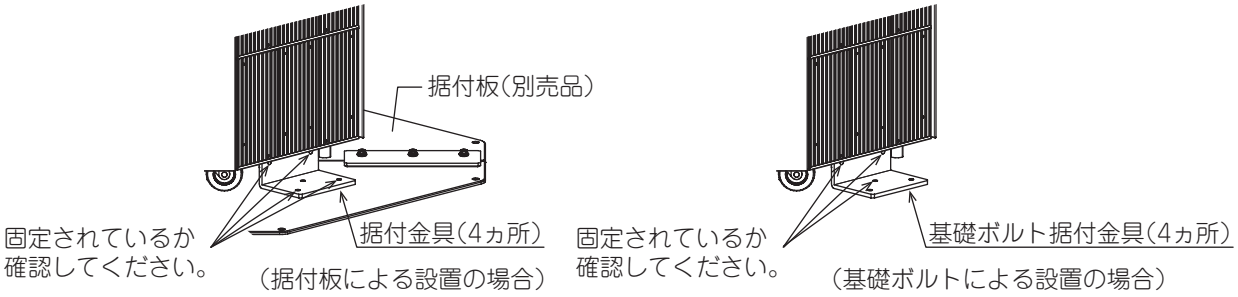


※1. 圧縮機の暖機運転のため、電源ブレーカー投入後、約1.5時間は、冷房・暖房運転ができません。（送風運転のみ可能です。）
暖機運転中はコントロールパネルに ✚ マークが表示されます。
※2. 圧縮機保護のため、運転時間が短い場合はコントロールパネルで運転停止後も、最大120秒程度、冷房・暖房運転を継続する場合があります。
※3. 圧縮機保護のため、圧縮機停止後、約90秒間は排気口側のファンを運転します。
また、この動作が完了するまで、圧縮機は再起動しません。
※4. 圧縮機保護のため、コントロールパネルで運転開始を指示してから30秒間、送風運転または待機を行います。
※5. 製品ユニット内部の温度を上げるため、圧縮機運転開始から最長約90秒間、吹出口側ファンを微風で運転します。


排気口
保護あみ
支柱
吸込グリル
吹出口
コントロールパネルにより風量を3段階に設定できます。風向の調整はできません。
運搬用とって
とってカバー
コントロールパネル
コントロールパネルの取扱いについては、コントロールパネルの取扱説明書をご覧ください。
吸込グリル
据付マット(別売品)
据付板(別売品)
コントロールパネルカバー
ドレン配管
機種名銘板
コントロールパネルグリル
キャスター：4ヵ所(ストッパー付)
電源配線(専用漏電遮断器へ)
アース線(注)
(注) 万一の感電・火災防止のためエアコンから大地へ電気を逃がす線です。
長期使用製品安全表示銘板
設計上の標準使用期間などを表示しています。
※操作終了後は、必ずコントロールパネルカバーを閉めて、固定用ツメを下ろしてください。その後コントロールパネルグリルを元の位置に戻してください。水分の浸入やホコリの侵入により、故障などの原因になります。
固定用ツメ
①
吸込グリル(上)
コントロールパネルグリル
(コントロールパネルグリルを手前に引く)
吸込グリル(下)
②
(コントロールパネルグリルを下におろす)
キャスターの状態
固定状態(エアコン使用時)
固定解除状態(移動時)

運転準備

1 据付板または基礎ボルトで確実に固定されているか確認します。



2 キャスターのストッパーが固定状態(4ヵ所)か確認します。
(固定状態は 6 ページをご覧ください。)

3 ドレン配管が確実に接続されているか確認します。

4 据付板による設置の場合は据付マットを設置してください。

5 電源ブレーカーを入れます。

運転方法

1 コントロールパネルグリルを手前に引いてから、下に下ろしてください。

2 固定用ツメを上げて、コントロールパネルカバーを開けてください。
(6 ページ参照)

3 コントロールパネルを操作してください。
(9,10 ページ参照)

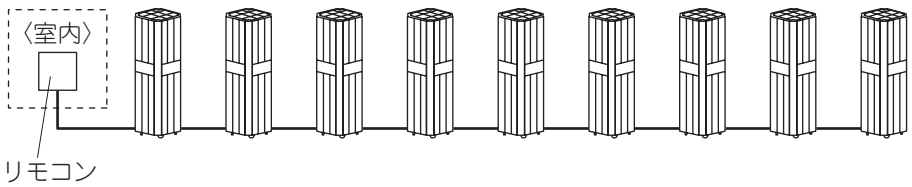
4 コントロールパネルカバーを閉めて、固定用ツメを下ろしてください。

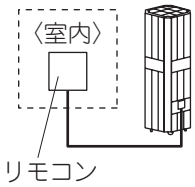
5 コントロールパネルグリルを引き上げて閉めてください。

複数台同時運転の場合

複数台の製品ユニットを同時に運転できるシステムの場合

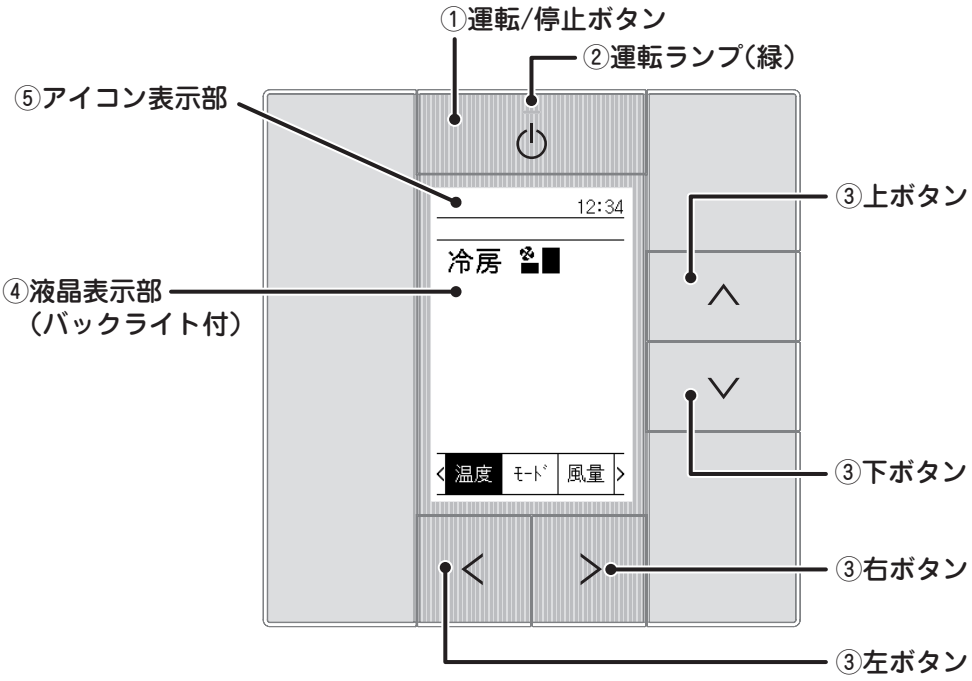
1つのリモコンでグループ制御	2リモコン制御
●1つのリモコンで最大16台まで運転操作できます。 ●すべての製品ユニットは同じ設定となります。	2つのリモコンから1台 (グループ制御の場合は1グループ) の製品ユニットを運転操作できます。





お願い
- グループ制御・2リモコン制御の組合わせや設定については、必ずお買い上げの販売店にご確認ください。
- グループ制御・2リモコン制御の組合わせや設定を変更される場合はご自分でなさらずに、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 1つのリモコンでグループ制御する際は、コントロールパネルの配線はすべて外して使用してください。
  配線を行う場合はご自分でなさらずに、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

コントロールパネル



本文中に説明のない機能および表示・操作方法について
コントロールパネルの詳しい情報は、
弊社ウェブサイトの取扱説明書をご覧ください。
http://d-search.daikin.co.jp/open/manual?mdl=BRC1G2&set=K

お願い

●コントロールパネルのボタンを先のとがったもので押さないでください。
破損し、故障の原因になることがあります。

①運転／停止ボタン

●1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。※1 ※2

②運転ランプ(緑)

●運転中：緑色に点灯
●停止中：消灯
●エラー発生時：緑色で点滅

③左・右・上・下ボタン

●反転表示を左右上下方向に移動するとき、
または選択・設定の確定を行うときに使用します。

④液晶表示部(バックライト付)

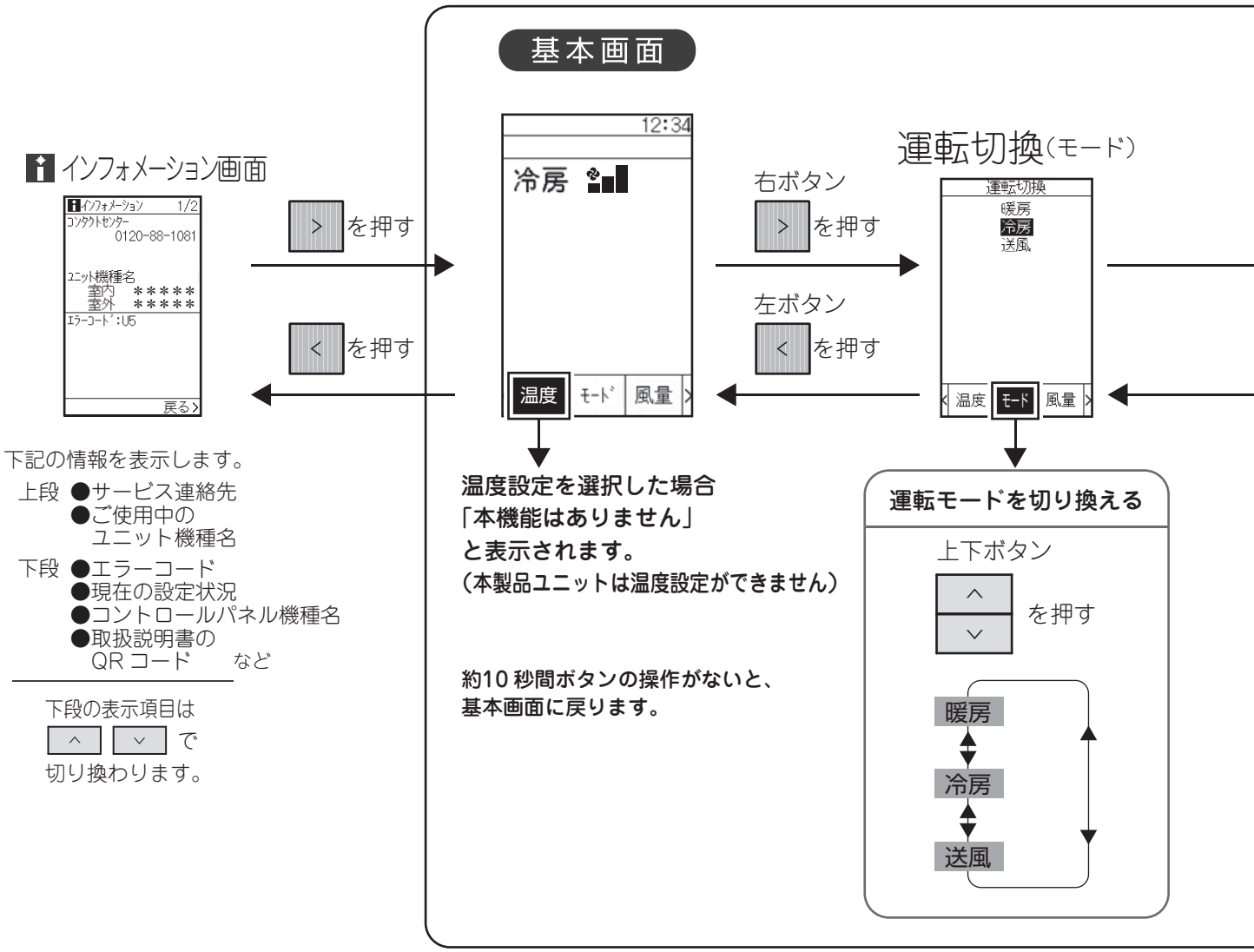
●操作ボタンのどれかを押すと
バックライトが約30秒間点灯します。
●ボタン操作はバックライト点灯中に行ってください。
(ただし、運転／停止ボタンを除きます。)
●1つの製品にコントロールパネルとリモコンが
接続されている場合、先にボタン操作した
コントロールパネル(またはリモコン)のみ
バックライトが点灯します。
(ボタン操作については、バックライトが消灯している
コントロールパネル(またはリモコン)でも有効です。)

⑤アイコン表示部

●アイコンが表示されることがあります。

※1. 圧縮機保護のため、運転時間が短い場合はコントロールパネルで運転停止後も、最大120秒程度、冷房・暖房運転を継続する場合があります。
※2. 圧縮機保護のため、圧縮機停止後、約90秒間は排気口側のファンを運転します。
また、この動作が完了するまで、圧縮機は再起動しません。

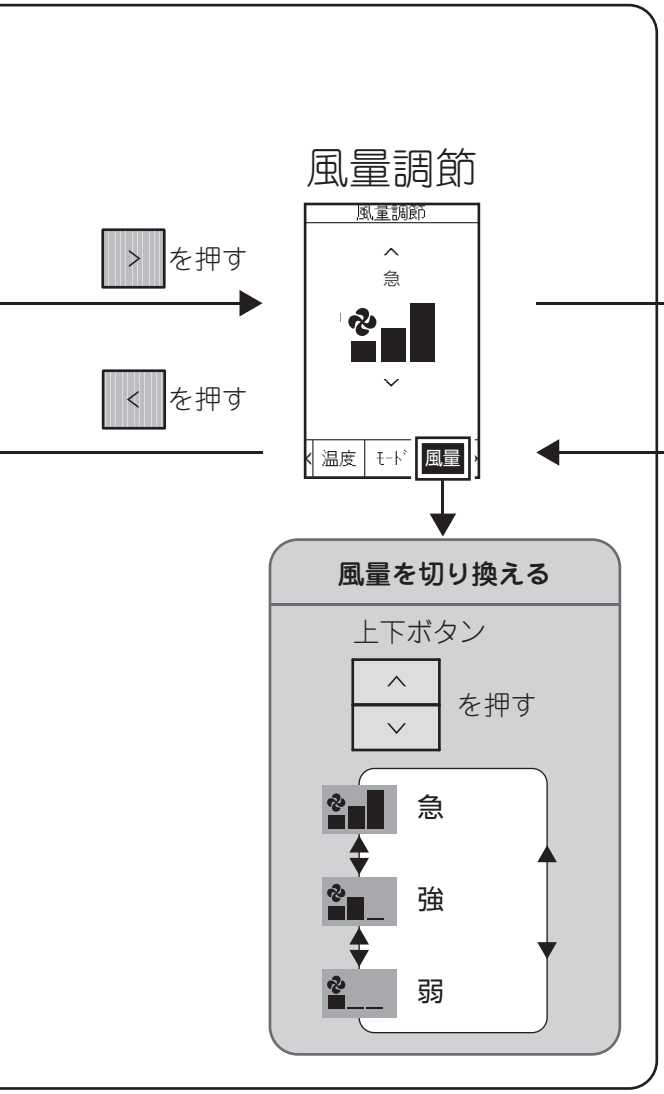
基本運転のしかた

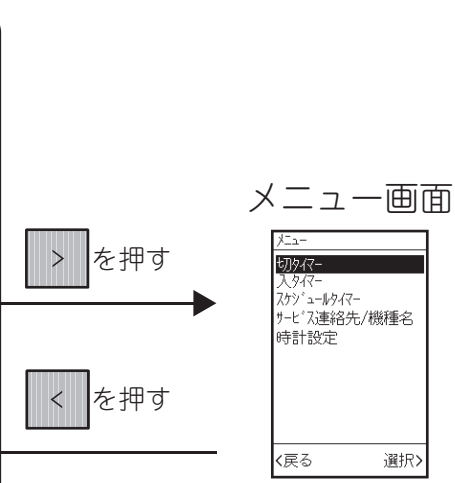


メッセージが表示されたとき

液晶画面に下記のメッセージが表示されることがあります。

メッセージ	説明
エラー：＜を押す	エラーを検知したときに表示します。 ＜ ボタンを押して、インフォメーション画面で「エラーコード」「機種名」を確認し、「サービス連絡先」またはコンタクトセンターにご連絡ください。
警報：＜を押す	
本機能はありません	使用できない機能を選択したときに表示します。





入切タイマーなどの
詳細な設定ができます。
メニューの種類や
設定方法については、
弊社ウェブサイトの
取扱説明書をご覧ください。

それぞれのメニューは
[∧] [∨] で移動し、
反転表示しているときに
[>] で選択すると、
各設定画面を表示します。

※メニューの種類によっては
温度設定ができます。
本製品では温度設定機能が
ないため、設定しても本製品には
反映されません。

アイコンが表示されたとき

液晶画面に下記のアイコンが表示されることがあります。

タイマー		入切タイマー・スケジュールタイマー・消し忘れ防止タイマーのいずれかが設定されています。		時計設定が必要です。
暖機運転		暖機運転中です。 表示中は、冷房・暖房運転はできません。(送風運転のみ可能です。) (電源ブレーカー投入後約 1.5 時間表示されます。)		

製品ユニットの移動（据付板による設置の場合）

※電源作業についてはお買い上げの販売店にご依頼ください。

1 電源ブレーカーを遮断してください。

2 電源配線・アース線を外してください。
（グループ制御・2リモコン制御の場合は、制御配線も外してください。）
※配線の取り外しには資格が必要です。お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。

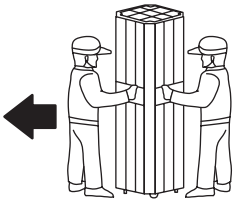
3 ドレンホースが排水溝や側溝に固定されていないか確認してください。
※固定されている場合は、取り外してください。
※簡単に取り外せない場合は、お買い上げの販売店に取り外しを依頼してください。

4 とってカバーを外してください。

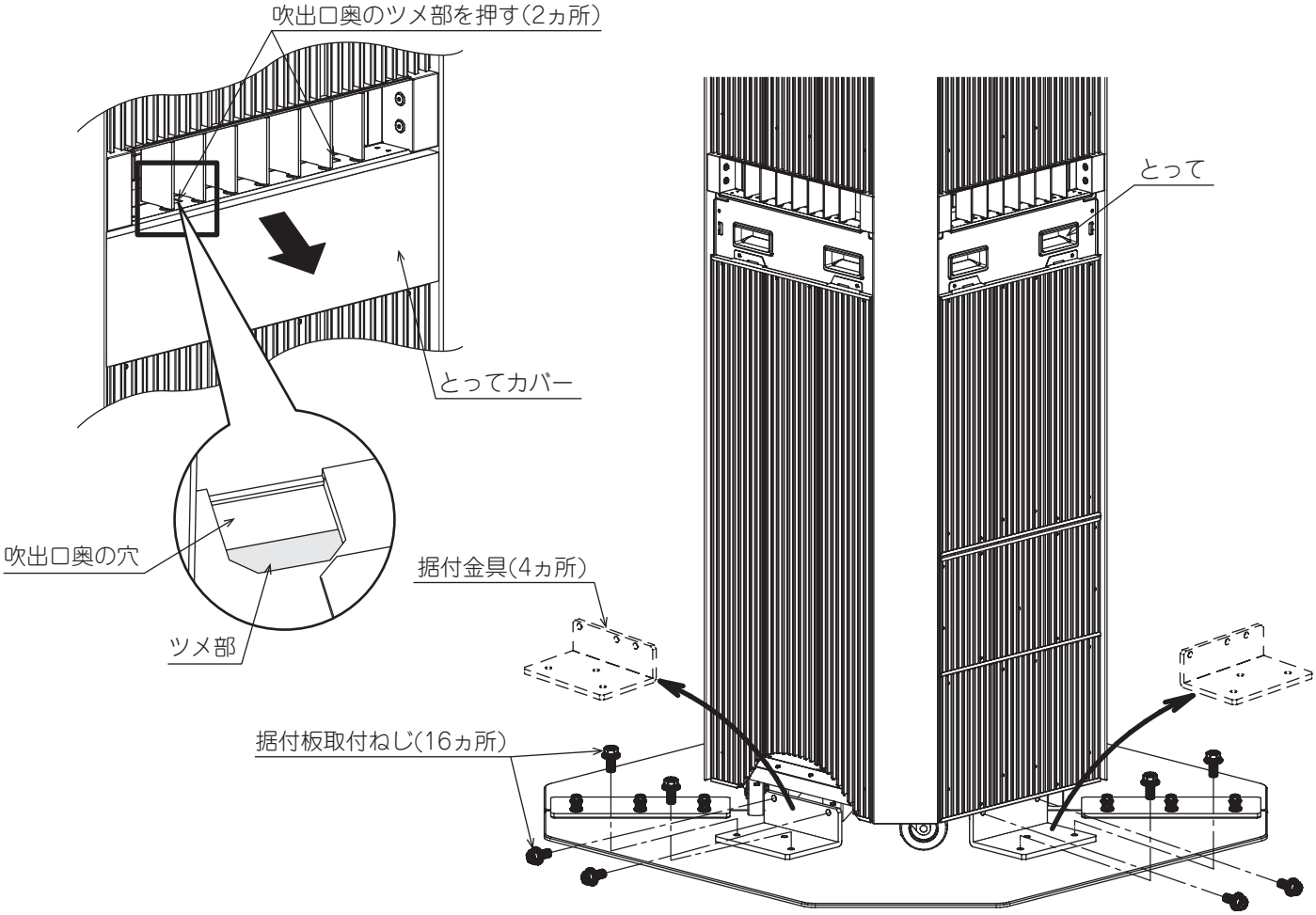
5 据付マット・据付金具を外してください。（付属の据付説明書（別売品用）を参照してください。）

6 キャスターのストッパーを固定解除状態にしてください。

7 とってに手をかけて2人作業で移動させてください。
※移動の際は、エアコンを横に倒したり、傾けて運ばないでください。
転倒によるけがや水漏れ・故障の原因になることがあります。



8 移動したあとは、必ずキャスターのストッパーを固定状態にして、
エアコンが倒れないように固定してください。
※再度据え付ける場合は、付属の据付説明書を参照し、据付板に据付金具で製品ユニットを固定し、
据付マットを設置してください。
電源作業についてはお買い上げの販売店にご依頼ください。



⚠警告

●**可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない**
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

⚠注意

●**高圧洗浄機などを用いた製品ユニットの洗浄を行わない**
製品ユニットの変形・能力低下の原因になることがあります。
また電気部品や電動機にかかると故障や発煙・発火の原因になることがあります。

禁止

●**お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する**
電源ブレーカーを遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。

お願い
●**吸込口にキッチンペーパーなどを取り付けないでください。**
性能が低下し、凍結・水漏れの原因になることがあります。

日常のお手入れ

外装の清掃のしかた

●柔らかい布でからぶきしてください。
●汚れがとれないときは、水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞った布で汚れをふき取ったあと、乾いた布でからぶきしてください。

お願い
●**ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。**
変色や変形の原因になることがあります。

シーズン初め・終わりのお手入れ

シーズン初め

確認してください。
●製品ユニットの排気口や吹出口・吸込グリルをふさいでいませんか?
障害物がある場合は取り除いてください。
障害物は風量低下による能力低下・水漏れや機器の故障の原因につながります。

清掃の前に必ず電源ブレーカーを遮断してください。

外装を清掃してください。

清掃後は電源ブレーカーを入れてください。
●電源ブレーカーを入れると、コントロールパネル表示部に文字が表示されます。

電源ブレーカーは運転開始の1.5時間以上前に投入してください。
●機械保護のためと、始動を円滑にするためです。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。
●カビなどを防止するためです。

電源ブレーカーを遮断してください。
●電源ブレーカーが入っているときは、数ワット～数十ワットの電力を消費します。
節電のためにも電源を遮断してください。
●電源ブレーカーが遮断されると、コントロールパネル表示部の文字が消えます。

外装を清掃してください。

お願い
製品ユニットを数シーズンご使用になると内部の熱交換器やドレンパンが汚れ、性能低下や水漏れなどの原因になります。
内部清掃には専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

調子がおかしいときは

次の場合は、故障ではありません。

症状		原因
運転しない	冷気・暖気がでない	機械保護のためです。 運転範囲を超えると、冷房・暖房運転しません。 （冷房：吸込温度 20℃～40℃ 暖房：吸込温度 9℃～25℃）
		リモコンに「✚」が表示されていませんか。 暖機運転中のため運転できません。 電源ブレーカー投入後、約1.5時間後運転を開始します。
	操作ボタンを押すとコントロールパネルに「集中管理中このリモコンからは操作できません」または「集中管理されています。このリモコンからは操作できません。」と表示されたとき	集中機器により、コントロールされているためです。 そのコントロールパネルで操作できないことを示します。
	運転開始直後	機械に無理がかからないように コントロールしているためです。 30～90秒後に運転を自動で開始します。
	停止後、すぐに運転したとき	
風量が設定どおりにならない	風量調節を行っても風量が変わらない	機械保護のため風量をコントロールする場合があります。 連続運転可能範囲内になるような対策が必要です。 （冷房：吸込温度 20℃～40℃ 暖房：吸込温度 9℃～25℃）
	設定と違う風量に変わってしまう	
	運転開始直後、風が弱い	機械に無理がかからないように コントロールしているためです。 冷房・暖房運転開始時は30秒間微風になります。
外装が白くなっている	白い点がある	雨や露でぬれて、容易に乾燥しないような環境にされたときに発生する白錆です。 製品の運転に支障はありません。
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき （油分やほこりの多い場所）	製品ユニット内部の汚れがひどい場合に、 湿度ムラが生じるためです。（注1）
音が出る	冷房・暖房時の「シュー」という かすかな連続音	製品ユニット内部にガス（冷媒）が流れている音です。
	運転停止後の「シュルシュル」という音	ガス（冷媒）の流れが止まる音、および流れが変わる音です。
ホコリが出る	長時間運転停止したあと、 ふたたび運転を始めるとき	製品ユニット内部に付着したホコリが 吹き出るためです。（注2）
においが出る	運転中	周囲のにおい、たばこのにおいなどが 製品ユニット内部で吸着されて 吹き出すためです。（注3）
• ドレン水が排水されない • 製品ユニットから水漏れする	冷房・暖房運転中	ごみや異物などがドレンホース・ドレンパンに詰っている可能性があります。 清掃には専門の技術が必要ですので、 お買い上げの販売店にご依頼ください。

注1. 製品ユニットの内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買い上げの販売店にご依頼ください。
注2. ホコリが出続ける場合は製品ユニット内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買い上げの販売店にご依頼ください。
注3. においの原因になるものを吸込口から離してください。
においがとれない場合は、製品ユニット内部の洗浄が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
まったく運転しない	電源ブレーカーが遮断されていませんか？	●電源ブレーカーのとってがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電源ブレーカーのとってがトリップ位置の場合は、電源を入れないでお買い上げの販売店にご連絡ください。故障のおそれがあります。 電源ブレーカー（漏電遮断器） ON とって トリップ OFF ON トリップ OFF
	停電ではありませんか？	停電復帰後、再運転してください。
運転するがすぐに止まる	製品ユニットの排気口や吹出口・吸込グリルをふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。
	周囲温度が高過ぎたり、近くに高温の照明などが設置されていませんか？	吸込温度が連続運転可能範囲を超えている可能性があります。連続運転可能範囲になるような対策が必要です。 （冷房：吸込温度 20℃～40℃ 暖房：吸込温度 9℃～25℃）
	製品内部（熱交換器）にごみやホコリが詰っていませんか？	製品内部（熱交換器）の洗浄が必要な場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
よく冷えない、よく暖まらない	排気口や吹出口・吸込グリルをふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。 障害物がある場合、風量低下や吹き出した風を吸い込み、能力低下や機器の故障の原因になることがあります。 電気のムダ使いにもなり、運転音増大や機器が停止する原因になることがあります。
	周囲温度が高過ぎたり、近くに高温の照明などが設置されていませんか？	吸込温度が連続運転可能範囲を超えている可能性があります。連続運転可能範囲になるような対策が必要です。 （冷房：吸込温度 20℃～40℃ 暖房：吸込温度 9℃～25℃）
	製品内部（熱交換器）にごみやホコリが詰っていませんか？	製品内部（熱交換器）の洗浄が必要な場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

次の場合は販売店へご連絡ください。

⚠警告

●**異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する**
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご連絡ください。

症状	次の処置をしてから連絡を
電源配線が異常に熱い。電源配線が破れている。	コントロールパネルで運転を停止し、電源を遮断してください。
風が出ない。	コントロールパネルで運転を停止し、電源を遮断してください。
電源ヒューズ・電源ブレーカー・漏電遮断器などの安全装置が作動する。	電源を入れたり、再運転しないでください。

別売品について

製品ユニットの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。
ご入用のときには弊社純正品とご指定ください。詳細はお買い上げの販売店にお問合わせください。

⚠警告

●**別売品の取付けは、自分でしない**
別売品は当社指定以外のものは使用しない

取付けに不備があると、故障や水漏れ・
感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターに
ご依頼ください。（裏表紙参照）

禁止

●**据え付ける場合は、据付板または基礎ボルトで**
製品ユニットを必ず固定する

地震や強風などの影響により製品ユニットが
転倒し、けがや故障の原因になります。
建築物の上層階・屋上および塔屋に
据え付ける場合は、基礎ボルトで固定してください。
基礎ボルトは50mm以上地中に埋め込んでください。

別売品
- **据付板** …… 風の影響などで製品ユニットが転倒するのを防止します。
- **吹出口閉鎖材キット** …… 吹出口を最大2つまで閉鎖することができます。
- **風向調整付き吹出口ユニット** …… 風向を調整することができます。
- **据付マット** …… 据付板の上をすべりにくくします。据付板による設置の場合に必ず必要です。
- **基礎ボルト据付金具** …… 風の影響などで製品ユニットが転倒するのを防止します。

製品の種類

機種名	SPP71形
機能	冷房・弱暖房
ユニット構成	一体形
熱交換器の冷却方式	空冷式
送風方式	直接吹出形
定格冷房能力（kW）	6.3/7.1

（注）1. ★1の値は、周囲条件35℃D.B.、28.5℃W.B.時です。
2. /で示された数値は左が50Hz、右が60Hzです。
3. この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

●本機は業務用エアコンです。
「点検周期」および「保全周期」の一覧にしたがい適切な保全行為を行ってください。（18 ページ表1参照）

●家庭用として設計上の標準使用期間を超えて使用する場合は、お買い上げの販売店に点検を依頼してください。
設計上の標準使用期間は長期使用製品安全表示銘板に表示しています。
（銘板位置は 6 ページ参照）
設計上の標準使用期間についての詳細は下記をご覧ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を行っています。

※ 【設計上の標準使用期間】　10 年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

※設計上の標準使用期間とは

●運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件下での経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。製造年は製品ユニットの機種名銘板の中に西暦4桁で表示してあります。
●設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　日本冷凍空調工業会自主基準による

	項　目	規　定
環境条件	電源電圧	単相200V または三相200V
	周波数	50/60Hz
	冷房室内温度	27 ℃(乾球温度)
	冷房室内湿度	47%(湿球温度19 ℃)
	冷房室外温度	35 ℃(乾球温度)
	冷房室外湿度	40%(湿球温度24 ℃)
	暖房室内温度	20 ℃(乾球温度)
	暖房室内湿度	59%(湿球温度15 ℃)
	暖房室外温度	7 ℃(乾球温度)
	暖房室外湿度	87%(湿球温度6 ℃)
	設置条件	製品の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋，南向き和室，居間
	部屋の広さ	機種能力に見合った広さの部屋(畳数)
想定時間	1年当たりの使用日数	東京モデル 冷房：6月2日から9月21日までの112日間 暖房：10月28日から4月14日までの169日間
	1日当たりの使用時間	冷房：9時間／日 暖房：7時間／日
	1年間の使用時間	冷房：1,008時間／年 暖房：1,183時間／年

●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化に至るおそれがあります。
●本来の使用目的以外でご使用された場合は、発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

⚠警告

●**分解・修理をしない**
故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●**改造は絶対にしない**
故障や事故の原因になります。
改造による故障は、保証期間内でも
有料修理になります。

禁止

フロンについて

1）地球温暖化防止のため、この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類を回収する必要があります。
2）本シリーズ機にはGWP（地球温暖化係数）675のフロン類が封入されています。

※1　この表示は、製品ユニットに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識いただくための表示です。
「■移設および廃棄などについて（18ページ）」をご覧ください。

■別売品について
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

■修理を依頼されるときは次のことをお知らせください。

- ●機種名
- ●製造番号と据付年月日

} 保証書に記載してあります。

- ●故障状況 ── できるだけ詳しく（コントロールパネルの表示内容もお知らせください。）
- ●ご住所・お名前・お電話番号

■無料修理保証期間経過後の修理について
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、この製品ユニットの補修用性能部品を製造打切り後10年間保有しています。

■保守点検契約のおすすめ
製品ユニットを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能低下や水漏れの原因になることがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。
メンテナンスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターに、機械の設置はお買い上げの販売店にご相談ください。

■点検と保全周期の目安について

[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表1は次の使用条件が前提となります。

①ひんぱんな運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
（機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回／時間以下を目安としています。）

②製品の運転時間は、10時間／日、2500時間／年としています。

●表1.「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期［交換または修理］
圧縮機	1 年	20,000時間
電動機（ファン・ルーバー・ドレンポンプ用など）		20,000時間
プリント基板類		25,000時間
熱交換器		5 年
バルブ（電磁弁・四方弁など）		20,000時間

主要部品名	点検周期	保全周期［交換または修理］
センサー（サーミスタ・圧力センサーなど）	1 年	5 年
ドレンパン		8 年
コントロールパネルおよびスイッチ類		25,000時間
ファン		10年
ヒューズ		10年

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。
適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
注3.「保全周期」および「交換周期」は、使用条件（運転時間が長い、運転・停止頻度が高いなど）や使用環境（高温・多湿など）がきびしくなると短縮する必要があります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

■消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期
ヒューズ	1 年	10年

主要部品名	点検周期	交換周期
クランクケースヒーター	1 年	8 年

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。
適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。
注3.「保全周期」および「交換周期」は、使用条件（運転時間、運転・停止頻度）や使用環境がきびしくなると消耗期間が短くなる場合があります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。
なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となることがありますのでご注意ください。

■移設および廃棄などについて（必ずお読みください）

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

●この製品を廃棄またはリサイクル（部品や材料の再利用）する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。
●この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。
いずれの場合も、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
●製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

保証書について

●この製品には保証書がついています。
保証書は、お買い上げの販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間内に無料修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご連絡のうえ、修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。
ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

本製品を所有されているお客様へのお願い（必ずお読みください）

「フロン排出抑制法」に基づく冷凍空調機器の点検について

本製品の適性な管理とフロン類の排出抑制のために、所有されているお客様ご自身による簡易点検の実施と記録が義務付けられています。

点検頻度	点検方法	点検項目
3か月に1回以上	お客様による「目視での外観点検」 ※点検方法詳細、注意点は下記サイトの「簡易点検の方法」をご確認ください。	異常振動、異常運転音
		本体および本体周辺の油のにじみ
		本体の損傷、熱交換器の腐食・錆など

異常が見受けられる場合、ご不明な点がある場合は、販売店またはコンタクトセンターにお問合わせ、または下記サイトをご覧ください。

- フロン排出抑制法関連　http://www.jarac.or.jp/ （JARACホームページ）

JRA GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

JRA：一般社団法人 日本冷凍空調工業会

製品の性能を維持していただくために、また、冷媒フロン類を適切に管理していただくために、設置時および設置後の定期的な冷媒漏えい点検（保守点検などによる遠隔からの冷媒漏えいの確認などの総合的サービスも含む：いずれも有償）をお願いいたします。

上記の漏えい点検は、漏えい点検資格者が実施し、「冷媒漏えい点検記録簿（下表参照）」にその結果と、廃棄する時までのすべての点検記録が記載されますので、お客様による内容の確認とその管理（管理委託含む）をお願いいたします。

詳細につきましては、販売店またはコンタクトセンターにお問合わせ、または下記サイトをご覧ください。

- JRA GL-14について　http://www.jraia.or.jp/ （JRAIAホームページ）
- フロン漏えい点検制度について　http://www.jarac.or.jp/ （JARACホームページ）

冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）

冷媒漏えい点検・整備記録簿	年　月　日 ～ 年　月　日	管理番号		補足事項

機器の管理者	氏名・名称					設備製造者							
	住　所		系統名			設置年月日	西暦　年　月　日						
機器の所在	施設名称		TEL			使用機器	分類		型式				
	住　所		TEL				製番		用途				
運転管理責任者			TEL				圧縮機の電動機定格出力(kW)						主要冷媒のGWP値
点検業者名など			TEL			冷媒量(kg)	合計充てん量	合計回収量	合計排出量	CO_2トン			
			TEL										R32
住所			TEL			使用冷媒		初期総充てん量(kg)					675

作業年月日	点検・整備区分	充てん量(kg)	回収戻し充てん量(kg)	回収量(kg)	点検内容	点検結果	漏えい・故障の原因	漏えい・故障箇所	修理の内容	点検・修理・回収・充てん業者名	技術者氏名	技術者No.	修理困難理由	修理予定日
	出荷時初期充てん量													
計														

MEMO

MEMO

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問合わせは下記の ご購入店 へご連絡ください。

ご購入店名	TEL	据付年月日　　年　　月　　日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

コンタクトセンター
（お客様総合窓口）

非通知設定の方は、最初に **186** をダイヤルしていただき、発信番号の通知をお願いしております。

フリーダイヤル 0120-88-1081（全国共通フリーダイヤル）
FAXでのお問合わせは　0120-07-0881（FAX専用フリーダイヤル）
http://www.daikincc.com（ご相談対応ホームページ）

営業時間：24時間365日対応いたします。
対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問合わせをお受けいたします。
（修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・補用部品の販売など）

1205

ダイキン工業株式会社
本　　社　大阪市北区中崎西二丁目4番12号　梅田センタービル
郵便番号 530-8323

東京支社　東京都港区港南二丁目18番1号　JR品川イーストビル
郵便番号 108-0075

3P558812-1A　M18A041　<1903> FS